

(資料提供)

月 日(曜日)	担当館名	電話	担当者
6月25日(木)	県立近代美術館	電話 088-668-1088	企画交流室 竹内
	文化の森企画広報室	ファクシミリ 088-668-7198	学芸調査課 安達、吉川

開館 25 周年記念「所蔵作品展 2015」 「特集 現代版画」の開催について

1. 趣旨

所蔵作品展は、当館のコレクションを紹介する展覧会です。今年度は、開館 25 周年記念と銘打って、1 年間を通じて特別編成で所蔵作品をご紹介します。

所蔵作品展 2015 (4/11～7/26) では、会期中に特集コーナーを 3 回設けますが、今回の「特集 現代版画」はその 3 回目となります。

今回の資料提供では、「特集 現代版画」の会期 (6/23～7/26) の展示について、特集コーナー以外の内容を含めてご案内します。

2. 会期 平成 27 年 6 月 23 日 [火] ～7 月 26 日 [日]

3. 会場 徳島県立近代美術館

4. 開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時

5. 休館日 月曜日 (7 月 20 日 [祝] は開館)、7 月 21 日 [火]

6. 観覧料 一般 200 円 (160 円)
高校生・大学生 100 円 (80 円)
小学生・中学生 50 円 (40 円)
高齢者[65 歳以上]、障がい者とその介助者 1 名は無料
※() 内は 20 名以上の団体料金です。
・小学生、中学生、高校生は、土・日・祝日、夏休みは無料。
・大学生、一般は、祝日は無料。
・7 月 18 日から 26 日は「家族でおでかけ・節電キャンペーン」により全員無料。

7. 内容

【特集 現代版画】

会場：展示室 1

出品点数：45 点 (31 作家)

内容： 「人間像」、「徳島ゆかりの美術」と並ぶ、もう一つの当館の作品収集テーマが「現代版画」です。写真や印刷などのテクノロジーは、私たちの暮らしはもちろんのこと、現代の美術をとりまくビジュアル文化を大きく変えてきました。そのような時代の美術をとらえるとき、「現代版画」はすぐれた切り口になると思われます。

現在 2,500 点を越える版画コレクションの多彩な魅力を選びすぐってご紹介します。会場は大きく 3 つのパートにわかれています。ごゆっくりお楽しみください。

1 木のちから

彫りの手と木から生まれる、実直な表現の魅力とその幅広さに驚かれること

でしょう。カンディンスキーが抽象絵画に向かう時期の重要な詩画集「響き」や、日本の版表現に世界の注目を集めさせた棟方の貴重な作例「耶蘇十二使徒版画冊」。そして現代的な木版技法の可能性を切り拓いた、吹田文明と黒崎彰の異なるアプローチなどをご覧ください。

2 銅版画の風合い

銅板をニードルなどの道具で刻んだり、薬剤で腐蝕させて版をつくるエッチング（腐蝕の意味）技法では、プレス機を用いて印刷します。そのため作品はどこか硬質で静かな表情を持っています。ドライポイントののにじむ線画で現代女性を描いた池田満寿夫や、偶然性をとり入れた独自のテクニックで想像力を刺激する加納光於など、銅版画の風合いを味わっていただけたらと思います。

3 工房と新しい技術 リトグラフ、シルクスクリーン

ポップアートの流行に一役かったシルクスクリーン技法は、手業を感じさせないクールな色面や写真製版の手軽さなどによって、1960年代以降の版画やグラフィックデザインの表現を大きく変えました。版画芸術の隆盛をみたこの時代、工房とアーティストのコラボレーションによる名作が次々と登場します。巨匠シャガールの名作「ダフニスとクロエ」や、人体から型どりする手法でシーガルが制作した大型版画、ホックニーのカラーージュを駆使したまるで1点制作のような作品など、現代版画のバラエティをご紹介します。特集の最後を飾るのは、1枚転写すれば版が消えてしまうモノタイプに版画の意味を問い続けた、徳島出身の一原有徳の作品です。

※ 展示室2の「徳島県立近代美術館名品選」でも長谷川潔、アンリ・マティスらの版画コレクションを展示しています。

また、ロビーで「新日曜美術館 闇に刻まれた宇宙 ～日和崎尊夫の木口木版画～」(NHK 1998年9月6日)を上映します。

【小コーナー 美術館が生まれた頃 1990年頃の作品を中心に】

会場：展示室1

出品点数：15点（8作家）

内容： 徳島県立近代美術館が開館したのは25年前、1990年11月3日のことです。このコーナーでは、その時代に発表された作品を紹介します。

海外に目を向けると、東西冷戦が終結を迎え、湾岸戦争が勃発する激動の時代でした。自国に転換期が訪れる以前の歴史をふまえたポーランド出身のマグダレーナ・アバカノヴィッチらの作品を紹介。

日本ではバブル景気が終わりを迎えようとしていた時期にあたります。太郎千恵蔵の高級な子供服を纏った頭部のない像や秋山祐徳太子のブリキの男爵像などこの時代の雰囲気に対する違和感を表した作品を紹介します。

※ 6月8日をはさみ、一部の作品を展示替え

【徳島県立近代美術館名品選】

会場：展示室2

出品点数：16点（16作家）

内容： ここでは、当館コレクションの3つの柱、「20世紀の人間像」、「徳島ゆかりの美術」、「現代版画」から優品を選びご紹介しています。

「20世紀の人間像」では、20世紀美術を代表するピカソ、クレー、レジェなど海外の作家、椿貞雄、熊谷守一、安井曾太郎のように、日本近代美術史の中

で独自の展開を見せた作家の作品をご覧ください。

「徳島ゆかりの美術」は、伊原宇三郎、山下菊二らの作品を展示。

「現代版画」は、シャガール、マチス、長谷川潔、横尾忠則の作品をご紹介します。

※ 6月8日をはさみ、一部の作品を展示替え

○このほかに、美術館ロビー、屋外展示場、彫刻の小径に12点を展示します。

○展示作品の合計は、63作家による88点となる予定です。

・都合により内容が変更になる場合もあります。

8. 関連事業

【テーマで知る名品 版画芸術の見方、味方】

日時 : 7月5日(日) 午後2時~2時45分

場所 : 展覧会場

講師 : 竹内利夫(学芸員)

対象 : 一般

内容 : 展示室で実際の作品を見ながら、版画の魅力やコレクションにまつわることを分かりやすくお話しします。

料金 : 観覧料が必要です。

申込 : 不要

【こども鑑賞クラブ はんがの巻】

日時 : 7月11日(土) 午後2時~2時45分

場所 : 展覧会場

講師 : 学芸員ほか

対象 : 小学生(保護者同伴可)

内容 : クイズや面白いワークなどをしながら、美術館の先生といっしょに展覧会を楽しむ催しです。

料金 : 無料。(同伴保護者は観覧料が必要です)

申込 : 当日2時までに受付をしてください。

【広報用画像の提供について】

「特集 現代版画」の広報用として、次の作品の画像を提供できます。必要な場合はご連絡ください。提供方法は、画像データの提供となります。使用に当たって、作者名、作品名、徳島県立近代美術館所蔵の旨は、必ず表示してください。

- 作者名 ヴァシリー・カンディンスキー
作品名 版画集〈響き〉叙情的
制作年 1911年
技法材料 木版 紙
所蔵 徳島県立近代美術館

